

平成22年度e・アンケートモニター 第1回アンケート調査結果

テーマ「地球温暖化対策」

I 調査の概要

1 調査のテーマ及び目的

テーマ:「地球温暖化対策」(環境政策課)

地球温暖化問題は、人類にかかわる世界共通の課題であり、山口県においても省エネ・省資源対策などの取組を進めているところです。山口県全体のCO₂排出量は近年減少傾向にあるものの、家庭からのCO₂排出量は著しく増加しており、一般家庭における地球温暖化対策が重要となっています。

そこで、家庭における地球温暖化対策の取組について調査を行い、今後の取組の推進にあたっての参考とします。

2 調査実施期間

平成22年7月24日～8月6日

3 調査対象

平成22年度e・アンケートモニター:167人

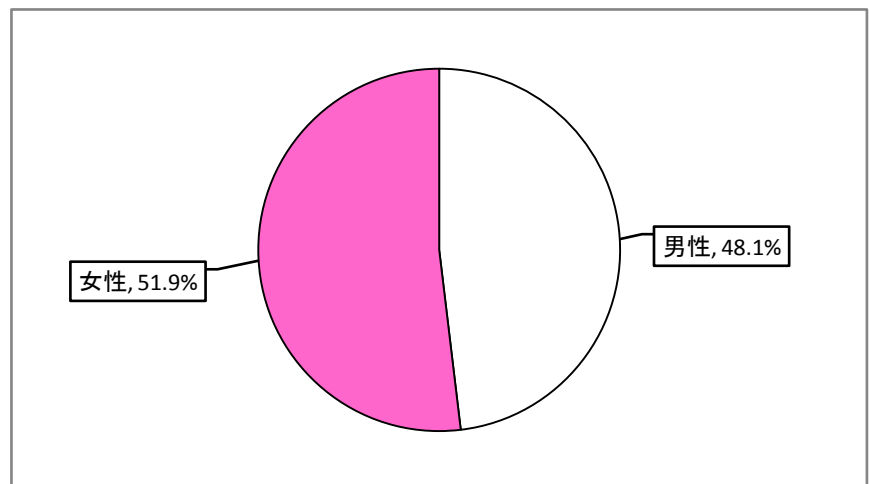
4 回答状況

回答者:135人(80.8%)

II 回答者の属性

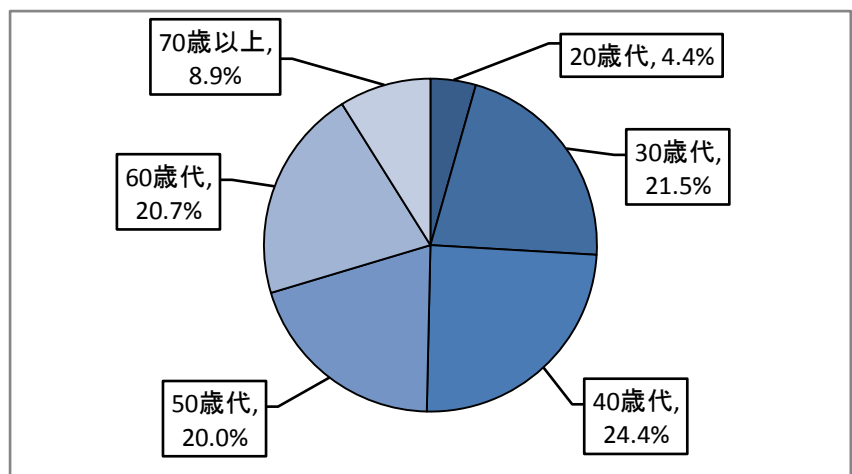
■性別

区分	人数	%
男性	65	48.1%
女性	70	51.9%
計	135	100.0%



■年代別

区分	人数	%
20歳代	6	4.4%
30歳代	29	21.5%
40歳代	33	24.4%
50歳代	27	20.0%
60歳代	28	20.7%
70歳以上	12	8.9%
計	135	100.0%

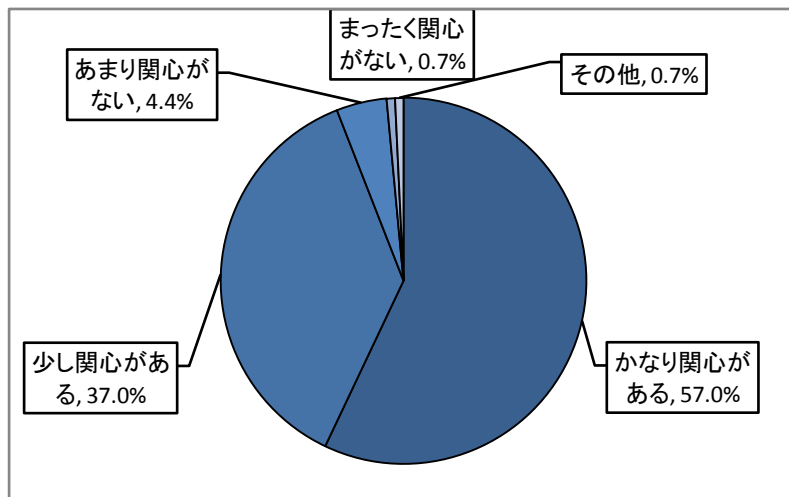


「回答者の属性」、「調査結果」の各表及び各グラフ中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合がある。

Ⅲ 調査結果

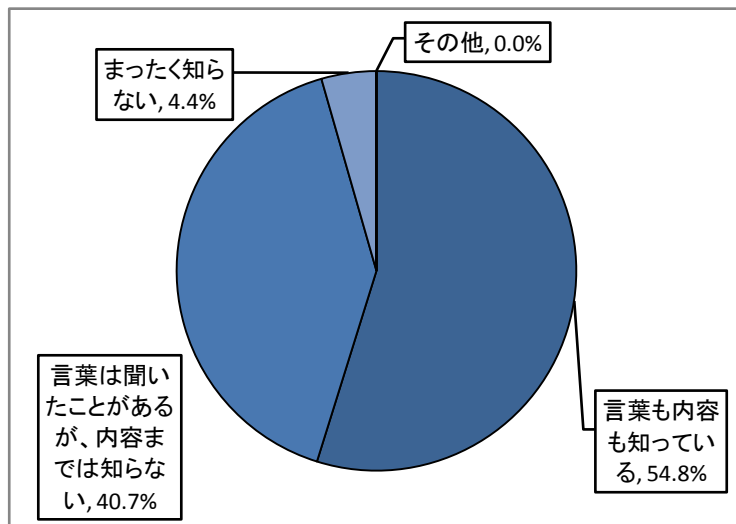
Q1 あなたは、「地球温暖化」に関心をお持ちですか。(1つのみ)

選択肢	人数	%
かなり関心がある	77	57.0%
少し関心がある	50	37.0%
あまり関心がない	6	4.4%
まったく関心がない	1	0.7%
その他	1	0.7%



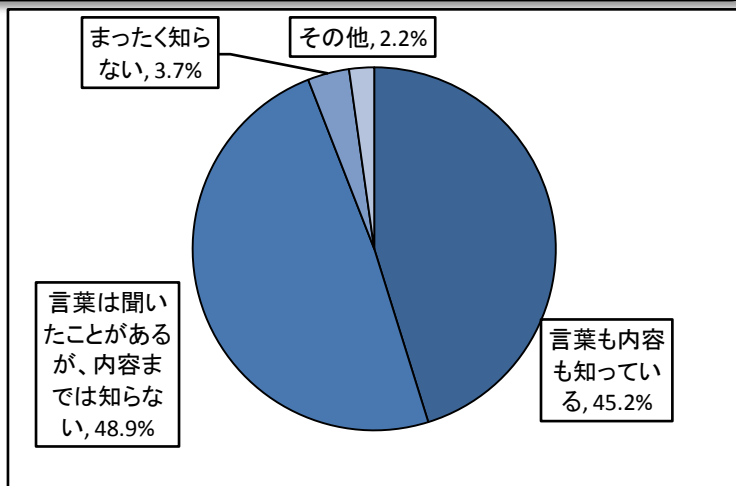
Q2 あなたは、「京都議定書」を知っていますか。(1つのみ)

選択肢	人数	%
言葉も内容も知っている	74	54.8%
言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない	55	40.7%
まったく知らない	6	4.4%
その他	0	0.0%



Q3 あなたは国の温室効果ガス排出量の中長期目標「中期的には2020年までに1990年比で25%削減、長期的には2050年までに80%削減する」を知っていますか。(一つのみ)

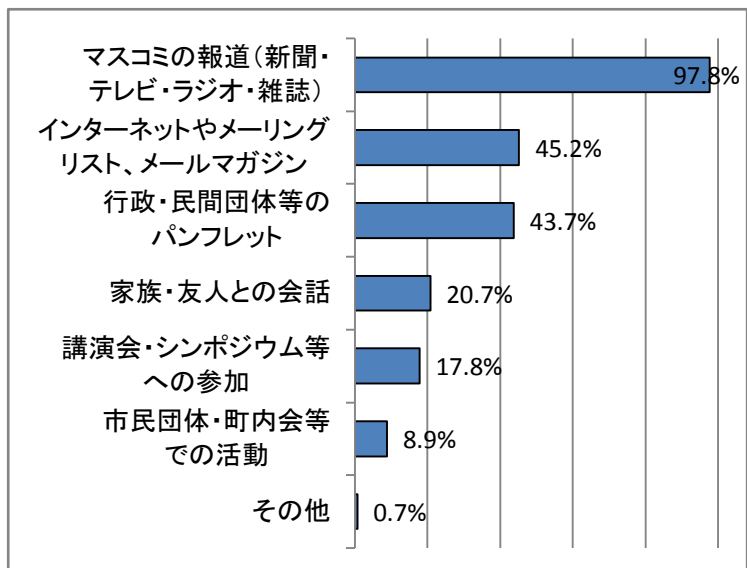
選択肢	人数	%
言葉も内容も知っている	61	45.2%
言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない	66	48.9%
まったく知らない	5	3.7%
その他	3	2.2%



Q4 あなたは、環境に関する情報を何から得ていますか。(いくつでも)

選択肢	人数	%
マスコミの報道(新聞・テレビ・ラジオ・雑誌)	132	97.8%
インターネットやメールマガジン	61	45.2%
行政・民間団体等のパンフレット	59	43.7%
家族・友人との会話	28	20.7%
講演会・シンポジウム等への参加	24	17.8%
市民団体・町内会等での活動	12	8.9%
その他	1	0.7%

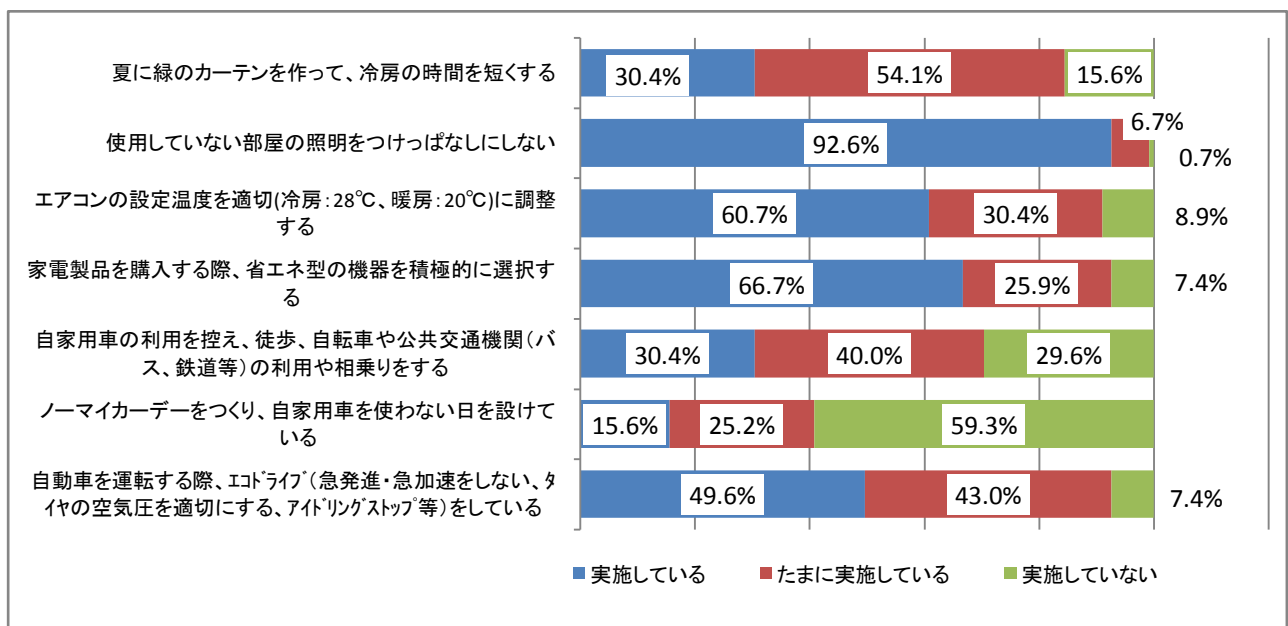
(複数回答)



Q5 あなたの日常生活において、地球温暖化防止のために、どのような取組を行っていますか。それぞれの「実施状況」について、該当するもののいずれか1つを選んでください。(それぞれ1つずつ)

(1) 家庭での省エネルギーの取組

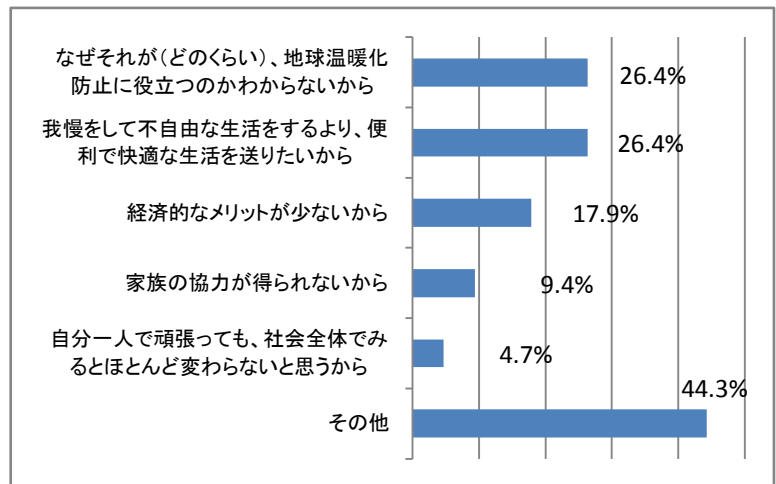
項目	人数			%		
	実施している	たまに実施する	実施していない	実施している	たまに実施する	実施していない
夏に緑のカーテンを作って、冷房の時間を短くする	41	73	21	30.4%	54.1%	15.6%
使用していない部屋の照明をつけっぱなしにしない	125	9	1	92.6%	6.7%	0.7%
エアコンの設定温度を適切(冷房:28℃、暖房:20℃)に調整する	82	41	12	60.7%	30.4%	8.9%
家電製品を購入する際、省エネ型の機器を積極的に選択する	90	35	10	66.7%	25.9%	7.4%
自家用車の利用を控え、徒歩、自転車や公共交通機関(バス、鉄道等)の利用や相乗りをする	41	54	40	30.4%	40.0%	29.6%
ノーマーカーデーをつくり自家用車を使わない日を設けている	21	34	80	15.6%	25.2%	59.3%
自動車を運転する際、エコドライブ(急発進・急加速をしない、タイヤの空気圧を適切にする、アイドリングストップ等)をしている	67	58	10	49.6%	43.0%	7.4%



(2) 家庭での省エネルギーに取り組めない理由（いくつでも）

(1) で一つでも「実施していない」を選択した方のみ回答

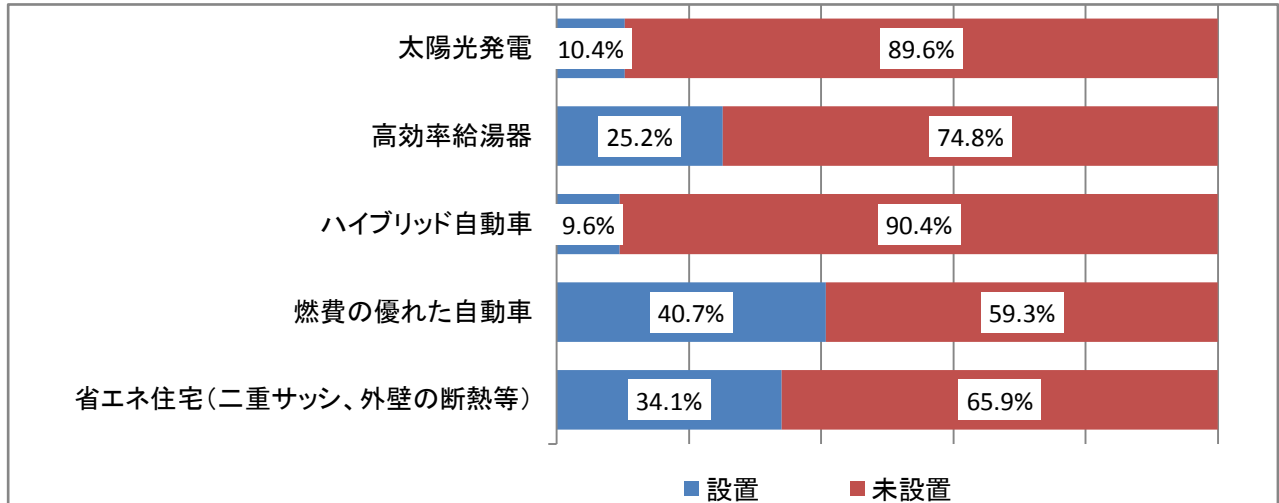
選択肢	人数	%
なぜそれが(どのくらい)、地球温暖化防止に役立つのかわからないから	28	26.4%
我慢をして不自由な生活をするより、便利で快適な生活を送りたいから	28	26.4%
経済的なメリットが少ないから	19	17.9%
家族の協力が得られないから	10	9.4%
自分一人で頑張っても、社会全体でみるとほとんど変わらないと思うから	5	4.7%
その他	47	44.3%



(複数回答)

(3) 新エネルギー・省エネルギー機器等の設置（それぞれ1つずつ）

機器の名称	設置	未設置	%	%
太陽光発電	14	121	10.4%	89.6%
高効率給湯器	34	101	25.2%	74.8%
ハイブリッド自動車	13	122	9.6%	90.4%
燃費の優れた自動車	55	80	40.7%	59.3%
省エネ住宅(二重サッシ、外壁の断熱等)	46	89	34.1%	65.9%



(4) 新エネルギー・省エネルギー機器等の設置に取り組めない理由 (いくつでも)

(3) で一つでも「未設置」を選択した方のみ回答

選択肢	人数	%
価格が高いから(行政からの補助が少ないなど)	95	71.4%
購入価格の割に、効果が低いと感じるから	33	24.8%
設置したいが、設置場所などの条件により、導入できないから	27	20.3%
必要性を感じないから	25	18.8%
機器・製品の情報が不足しているから	12	9.0%
既存の機器と比べて安全性・信頼性が低いと感じるから	9	6.8%
その他	33	24.8%

(複数回答)

